

財団法人茨城カウンセリングセンター

[法人の概要]

平成19年7月1日現在

代表者名	会長 澁谷 勲 (非常勤)	県所管部課	商工労働部 労働政策課	
所在地	水戸市桜川2-2-35	電話番号	029 - 225 - 8580	
ホームページURL	www.sunshine.ne.jp/~iccnet/	E-mailアドレス	iccnet@sunshine.ne.jp	
資本金(基本財産)	112,415 千円	設立年月日	平成 8年 4月 18日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	(社)茨城県商工経済会	30,415 千円	27.1 %
	2	(株)常陽銀行	30,000 千円	26.7 %
	3	茨城県	10,000 千円	8.9 %
	4	関彰商事(株)	3,000 千円	2.7 %
	5	(株)茨城木材相互市場	3,000 千円	2.7 %
	その他	12 団体	36,000 千円	32.0 %
設立目的	平成8年に(社)茨城県商工経済会が解散し、(社)茨城県経営者協会と統合したことに伴い、内部組織であった「人間関係研究所」を県内企業の出損により財団法人化した。この際、茨城県も10百万円出損している。なお、県では別途昭和56年より、人間関係研究所に対し、トータルヘルス推進事業費として補助している。当財団では、地域産業界の福祉に関する基礎的調査研究及び啓発事業を行い、その成果を広く地域に提供すること、及び勤労者をはじめ広く県民の心の悩みに対応したカウンセリングを実施し、豊かでゆとりある職場作りに寄与することを目的としており、県の施策実現の一翼を担っている。			

[事業の概要]

事業名	平成19年度事業費	内容
事業1 カウンセリング	11,540 千円	職場や家庭での人間関係をはじめ、日常のくらしの中で発生するこころの悩みに対応する。面談によるカウンセリングでこころの健康をサポートする。現に悩みを持っている方、またはその周囲の方等を中心に、広く地域社会に開かれ共同で利用できるカウンセリング機能を提供する。
事業2 講座・セミナー主催	10,605 千円	自己理解を深め、他の人との人間関係をスムーズにすることで、生き生きとした関わりを持てるようになるためのカウンセリングの考え方や手法を学習体験できる各種講座・セミナーを開催する。対象を特定せず、広く一般県民に参加を呼びかけている。
事業3 講師派遣・コンサルティング	5,735 千円	企業や団体等からの要請に応じ講師を派遣する。厚生労働省の施策を踏まえ、職場におけるメンタルヘルスケアの基本的考え方、仕組み作りや具体的進め方等を講演・研修を通してアドバイスする一方、必要に応じ直接指導も実施する。加えてメンタルヘルス全般のコンサルティングを行う。

[組織]

7月1日現在の人数	平成17年			平成18年			平成19年			
	県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB		
役員	常勤理事	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	非常勤理事	14	0	0	14	0	0	14	0	0
	常勤監事	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監事	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	計	18	0	0	18	0	0	18	0	0
職員	管理職	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般職	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	嘱託職員	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	計	3	0	0	3	0	0	3	0	0
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
		1		2	3	47歳 4月	8年 11月			

[収支の状況]

財団法人茨城カウンセリングセンター

(単位:千円)

区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度
収 支 の 状 況	収入合計	40,653	40,205	54,362
	事業収入	25,922	25,808	25,878
	事業外収入	14,731	14,397	28,484
	支出合計	41,500	41,234	54,298
	事業支出	29,639	29,914	38,505
	事業外支出	11,861	11,320	15,793
	うち管理費	9,888	10,020	13,613
	うち人件費	30,637	30,558	38,438
	当期収支差額	△ 847	△ 1,029	64
	正味財産増加額	0	1,316	24
	正味財産減少額	0	2,382	1,082
	当期正味財産増減額	△ 847	△ 2,095	△ 994
前期繰越正味財産	125,394	124,547	122,452	
期末正味財産	124,547	122,452	121,458	
財 産 の 状 況	資産	148,920	147,807	135,324
	流動資産	10,630	9,283	9,679
	固定資産	138,290	138,524	125,645
	負債	24,373	25,355	13,866
	流動負債	622	304	636
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	23,751	25,051	13,230
	うち長期借入金	0	0	0
正味財産	124,547	122,452	121,458	

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度
財 的 関 与 状 況	補助金	3,000	3,000	3,000
	委託金	384	586	536
	貸付金	0	0	0
	計	3,384	3,586	3,536
	財政的関与の割合(%)	8%	9%	7%
	損失補償・債務保証	0	0	0

[平成18年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	こころの健康対策を図るため、中小企業労働者等に対する相談啓発事業の物件費の一部を補助している。カウンセリングのみならず、マインドが広く浸透することにより、広く県民の悩み解消に寄与している。
委託金	茨城県職員と教職員のメンタルヘルス対策の一環として、こころの悩みに対応した相談機能を提供すべく委託し、カウンセリングを実施している。 18年度相談実績 県職員延63件、教職員延107件
貸付金	なし

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	8	8	100.0%
目的適合性	5	2	14	14.3%
組織運営の適正性	4	6	8	75.0%
健全性	11	12	40	30.0%
効率性	8	6	28	21.4%
合計	32	34	98	34.7%

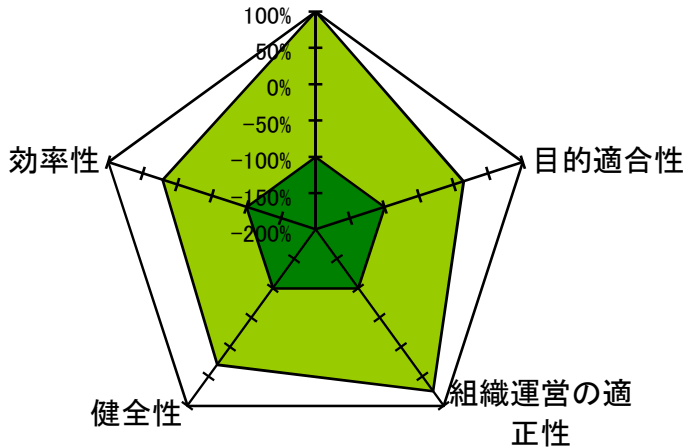
公益法人会計用

財団法人茨城カウンセリングセンター

警戒指標

--

経営評価レーダーチャート



《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題・対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
<p>カウンセリングの専門機関として茨城県民のメンタルヘルスに寄与する事業遂行が設立目的であり、これを実現する為の事業は選択肢が限られ、自ずと事業及び収支計画は限定的となる。</p>	<p>職場や家庭でメンタルヘルスケアの重要性が高まる中、県民に開かれた相談機関を標榜し、年間2千件を超えるカウンセリングを実施。社会的弱者に対するセーフティネットの機能を提供しており、公的機関としての存在意義は十分である。</p>	<p>課題はカウンセラーの高齢化にどう対処するかにつきるが、財団の支払能力に照らし人員増は望めず、退職待ちとなる。少人数の組織であり意思の疎通も問題ない。情報公開は個人情報以外は開放している。</p>	<p>公益性を重視した料金設定であり、収入不足は構造的問題である。補完策としての会員組織は退会が相次ぎ、有効に機能していない。講演や研修等の講師派遣を積極的に受注し、収入増のみならずPRに繋げている。</p>	<p>人件費率70%であるが支出のスリム化は既に限界に近く削減余地は少ない。一方活動面はカウンセリング、講師派遣とも高水準の件数をこなしており、対応能力の上限に達しつつある。</p>
<p>今後の事業展開の方向</p>	<p>広く県民に向けて「こころの悩み」に対するカウンセリング機能を提供するという設立目的を実現するため、当初よりカウンセリング及びカウンセリングマインドの普及を柱に事業展開してきている。生活環境の多くの面でパラダイムシフトが進み、増大するストレスへの対処法としてメンタルヘルスケアの必要性が一層重要となってきている。実際にあらゆる分野の方が相談に訪れており、その数の多さと共に財団への期待の大きさが窺える。現在の環境が大きく好転することは考えにくく、こころに不全をきたす確率も増大することが予想されるとすれば、なお一層こころの安全を育む事業に注力し、県民のこころの健康維持に寄与していきたい。財団の本義でもある「働く人のこころの悩み」に関しては、希望する企業と積極的に関わってゆくこととする。</p>			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
設立目的を達成するため、計画に沿った事業展開を行っている。社会経済情勢の変化に伴い、潜在的な需要が増加している分野であり、今後も設立目的に合致し、かつニーズに合った事業展開を図られたい。	さまざまな原因からうつ症状を訴える労働者が増加しており、カウンセリングはもちろん、職場や家庭におけるメンタルヘルスケアの重要性が高まっている。誰もが安価で利用できる当財団の役割はますます増大するものと考えられる。	カウンセラーの高齢化が引き続き課題となっており、退職後の補充人員についてはスムーズに行えるよう、準備しておく必要がある。	事業収入は安定しているが、会費収入の減少が依然として経営を圧迫している。会員確保について引き続き努力するとともに、その他収入源についても検討する必要がある。	事業の性質上、効率性を追求することが困難である。管理費等について、削減努力を続けている。
法人担当課の意見	当センターは設立以来、目的に沿って地域にメンタルヘルス機能の提供を行っており、県内における心の健康問題の中核的役割を担っている。引き続き、会員の確保、経費削減等により経営の安定に努め、県内のメンタルヘルス対策をより一層推進されたい。			

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div>
	<p>景況が好転しているものの、個人の生活レベルでは将来に不安を抱えるなど、心を取り巻く環境は依然厳しい状況にあり、メンタルヘルスケア対策を行う当法人の役割はますます重要性を増している。</p> <p>基本財産の運用収入は小さく、主に会費収入及び事業収入により運営されていることから、県民のニーズに合った事業の実施、会員の減少防止と新規獲得が重要である。引き続き企業等への働きかけに努めるとともに、広く一般県民に活動が認知されるよう広報にも努められたい。</p>
総合的所見等に係る対応	<p>社会経済状況が変化し、職場や家庭で心の悩みを抱える人が増えているなか、労働者やその家族の心の健康を守るため、当法人が実施している個別カウンセリングやカウンセリングマインド普及活動に対する需要は増している。</p> <p>今後とも、広く心の健康対策に資するよう、県民ニーズに合った事業の実施、会員企業の確保並びにセンター活動のPRに努めるよう指導していく。</p>

< 財団法人茨城カウンセリングセンター から県民のみなさまへ >

私どもは、県民の皆様が、いつでも、どなたでも利用できるカウンセリングの専門機関です。職場や家庭や社会における“こころの悩み”全般について、カウンセラーが親身になっておうかがいいたします。“悩みはひとりで背負わないで”どうぞ、お気軽にご相談ください。

平成20年2月 会長 澁谷 勲